

## 放送芸術科

## 映像リテラシーE2

対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平岩基			実務経験	有	職種	CM制作会社、広告代理店、映画会社				

## 授業概要

放送・映像業界における仕事は、チームワークで制作になるため、スタッフの業務は細分化され全体像の把握が難しいのが現状である。近年、放送芸術の仕事領域が格段に広がる中にあって、スタッフにも新しい発想が求められ始めている。本講座では映像が発明されて以来、歴代の制作者たちが苦心して作り上げてきた「映像手法」や「広告手法」を通して、放送・映像制作クリエイティブ、視聴者を魅了する映像の本質を理解する。

## 到達目標

映像クリエイティブのパターンを知ることで、映像手法の引き出しを増やすことができる。映像の本質を知ることで、業務遂行時により柔軟な対応ができるようになる。なぜその映像が生まれたのか、どのように利用されているのか。紹介する映像・資料を咀嚼し、自らの専門領域に応用できるようになる。

## 授業方法

毎回設定されたテーマ別に、アーカイブ映像を交えながら、「サンプル視聴」→「ポイントの整理」→「定着」を行う。基本的に座学であるが、積極的な参加を促すために「アンケート」「小テスト」などを適宜実施する。授業終わりに質問を受け付ける。

## 成績評価方法

学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

## 履修上の注意

授業時数の4分の3以上出席しない者は、定期試験を受けることができない。遅刻・途中退出をしないこと。（正当な理由がある場合は、その旨、申し出ること）授業中に内部資料を扱うことがあるため、授業内容をSNSに書き込むことを禁ずる。

## 教科書教材

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に提示する。

回数	授業計画
第1回	音と映像の関係
第2回	コマソソとは何か
第3回	タレント論(1)子役

第 4 回	タレント論(2)外タレ
第 5 回	タレント論(3)素人・老人
第 6 回	衣装論(1)制服
第 7 回	衣装論(2)悪と戦う制服
第 8 回	ダンス論(1)映像とダンス
第 9 回	ダンス論(2)ダンスのケーススタディ
第 10 回	映像心理学(1)恐怖訴求
第 11 回	映像心理学(2)射幸心訴求
第 12 回	映像心理学(3)比較
第 13 回	映像心理学(4)映像とプレゼン
第 14 回	クライアント論
第 15 回	映像の可能性